「福島大学学生教育支援基金」

平成 27 年度　支援事業

成果報告

福島大学学生教育支援基金は、地域の再生復興を見据えながら、グローバル化が進展する社会で活躍できる「強い人材」の育成を目指し、学生が存分に勉学に励み、国際性を育み、社会的実践力を身につけることができるような教育環境を整備することを目的とし、学生支援や国際交流、学生教育環境整備事業等を支援します。平成27年度は、同基金による支援事業として、留学補助等の3事業を採択しました。本紙では、事業の内容をご案内するとともに、その成果をご報告いたします。

国際舞台へ『ハバタク』！　グローバル人材育成のための派遣交換留学生養成プログラム

このプログラムは、交換留学に必要な英語力を養うことにより、将来の派遣留学生数を増加させ、さらには交換留学生が留学中に「グローバル（グローカル）人材にふさわしい情報発信力の養成」を目指す支援事業です。この事業により、高度なグローバル人材になりうる十分な資質を備えた学生自身が自分の英語力に自信を持ち、より積極的に豪米への交換留学に挑戦する動機づけを与えることが期待されています。

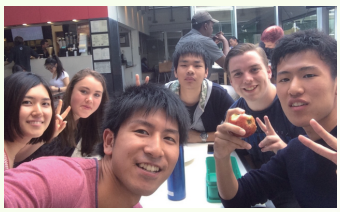
2015 年 8 月下旬から 9 月下旬までの 5 週間にわたって交流協定校であるオーストラリア・クイーンズランド大学で行われた英語研修には 11 名が参加し、能力別クラスに所属することで、学生自身が適切なレベルでの英語指導を受けることができます。また、世界中から英語を学びに来ているクラスメートはもちろん、キャンパスでは日本語を学習している学生を中心に、現地学生との交流機会にも恵まれました。

現地では2グループに分かれ、写真や映像を用いて分かりやすく「福島の魅力（Charms of Fukushima）」について、英語でプレゼンテーションを行いました。

この事業後、交換留学を目指す学生たちは IELTS 等の英語資格試験を受験、研修前にすでに取得してあったスコアと比較すると、着実に点数が伸びていることが確認され、研修中に得た各人の体験や感想を報告書（電子版）としてまとめました。今でも交換留学を目指して英語力アップを続けている学生が数名おり、今年度の留学生派遣事業への応募が期待されています。

報告書表紙

クイーンズランド大学構内の芝生で



現地学生や留学生たちと
一緒にランチ

クラスメートの留学生たちと
大学構内でテニス

学生によるラーニングコモンズ活用促進事業

図書館では、平成２６年度の増築・改修工事により、学生が各自の学習スタイルや用途に合わせて最適な学習場所を選択し、快適に学べるよう、多様なラーニングコモンズ（学生の自律的な「学習」を促すスペース）を設置しました。その上で、この新しい環境を福大生にとって必要不可欠な学びの場として発展させるには、福大生自身の目線で活用法を考えてもらうことが大事であると考え、学類生９名（１年生５名、２年生３名、４年生１名）によるサポートグループ（図書館サポーター）を組織しました。

サポーターは、総合教育研究センター教員の指導のもと、福大図書館の分析のほか、Web による他大学の事例調査や訪問調査を行い、図書館の利用や学生による学習支援について理解を深めました。その上で、各自の学習経験を踏まえ、福大図書館の使い方やラーニングコモンズの活用法を紹介した「図書館ガイド」を制作しました。これが新入生全員に配付されることにより、福大生の主体的な学習を促進させるきっかけとなることが期待されます。さらに、日本科学未来館を訪問し、スタッフへのインタビューを通して、学習支援を行うスタッフとしての心構えやスキルなどを学びました。これらの活動は、サポーターにとって、多角的視点や分析力をはじめ、問題解決力、企画・調整力、プレゼンテーション能力などを養う貴重な経験となりました。※「図書館ガイド」はホームページでも公開しています。http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/oshirase/guides2016.html

東北学院大学中央図書館の訪問調査

「図書館ガイド」の企画・編集会議

「図書館ガイド」の企画・編集会議

福大生留学促進給付金制度「The sky's the limit-- 無限の可能性の追求へ」

グローバル人材育成の必要性が叫ばれる中、本学の学生が海外に目を向け、留学にチャレンジしやすい環境づくりが求められています。そのような課題に応えるため、国際交流センターでは、本基金を利用し、本学学生の海外拠点協定校への交換留学による派遣と教員引率による短期語学研修プログラムを企画しました。

海外拠点協定校への派遣では、平成２７年４月から平成２８年３月までドイツ・ルール大学ボーフムに学生１名を派遣し、主にドイツ語の学習を行いました。さらには、平成２８年３月にも交換留学生をルール大学ボーフムに１名派遣し、平成２９年３月までドイツ語学習を行う予定です。

教員引率による短期語学研修プログラムでは、８月２３日～９月６日に中国・華東師範大学へ学生７名、８月２９日～９月２０日にオーストラリア・クイーンズランド大学へ学生１４名を派遣しました。華東師範大学は、語学学習のほか、福島県上海事務所での中国情勢の学習、福島県に本社のある企業（ゼビオグループやハニーズ、上海通鵬電材有限公司等）での企業視察やインターンシップの体験を行うことができました。なかでも、ゼビオグループ上海支店でのインターンシップは、中国人学生と合同での実習となり、学生にとっても大変勉強になりました。また、クイーンズランド大学でも、学生は現地でホームステイをしながらの語学学習のほか、クイーンズランド大学の学生との交流会などを行い、日本や福島について現地学生に紹介するなどの活動を行いました。

現地学生との交流
（ルール大学交換留学）

ゼビオでのインターンシップ
（華東師範大学短期語学研修）

福島県上海事務所での学習
（華東師範大学短期語学研修）

浴衣を着ての発表
（クイーンズランド大学短期語学研修）